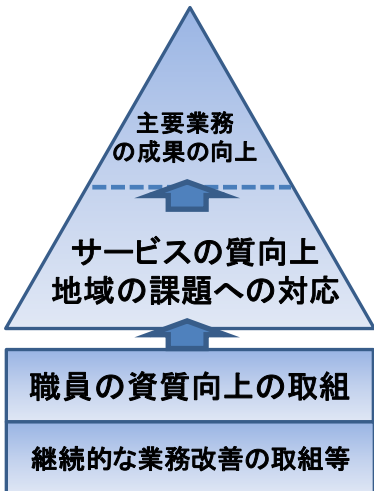


ハローワークのマッチング機能に関する業務の評価・改善の取組(概要)

ハローワークの機能強化を図るため、従来の目標管理・業務改善の拡充、マッチング機能に関する業務の総合評価、評価結果等に基づく全国的な業務改善を、平成27年度から一体的に実施。


PDCAサイクルによる 目標管理・業務改善の拡充

- ・従来の取組(就職率等を指標にしたPDCAサイクルによる目標管理)を拡充し、業務の質の指標を追加。
- ・地域の雇用の課題を踏まえ重点とする業務に関する指標を追加。
- ・中長期的な就職支援の強化のため、職員の資質向上や継続的な業務改善の取組を推進。



短期的な成果の向上だけでなく
中長期的な業務の質向上・業務改善を図り
就職支援を強化

ハローワークのマッチング機能 の総合評価・利用者への公表

- ・業務の成果や目標達成状況等を定期的に公表。
→主要指標の実績を毎月、年度後半の取組強化のための分析を年度末に、総合評価を年度終了後に公表
- ・業務の成果や質、職員の資質向上・業務改善の取組等の実施状況をもとにハローワークの総合評価を実施。
→労働市場の状況や業務量が同程度のハローワークをグループに分け、その中で比較し評価
- ・ハローワークごとに実績・総合評価及び業務改善の取組等をまとめ、労働局が公表。


重点的に取り組んだ事項、業務改善を図った事項、業務改善が必要な事項、総合評価、基本統計データ、指標ごとの実績及び目標達成状況などを公表
- ・労働局は地方労働審議会、本省は労働政策審議会に報告。

評価結果等に基づく 全国的な業務改善

- ・評価結果等をもとに本省・労働局による重点指導や好事例の全国展開等を実施。
 - ①評価結果等をもとに労働局・ハローワークに対する問題状況の改善指導
 - ②改善計画を作成、本省・労働局が重点指導(評価期間終了後)
 - ③好事例は全国展開(評価期間終了後)
労働市場の状況や業務量が同程度のハローワークによる交流会も開催

ハローワーク総合評価の構成

ハローワークのマッチング機能の総合評価は、全ハローワークで共通する指標による評価と、ハローワークごとに地域の特性等を踏まえ重点的に取り組む業務や継続的な業務改善等に関する評価を総合的に勘案して実施。

総合評価を実施

※所重点指標は、ハローワークごとに、評価対象とする業務・取組を選択

全ハローワークで共通する評価 (全所必須指標)

(1) 主要指標による評価

ハローワークのマッチング機能に関する業務のうち特に中核業務の成果を測定する指標に基づく評価

- 就職件数
- 求人充足件数
- 雇用保険受給者の早期再就職件数

(2) 補助指標による評価

ハローワークのマッチング機能に関する業務の質を測定する指標に基づく評価

- 満足度調査
- 紹介成功率

ハローワークごとの重点的な取組の評価 (所重点指標・所重点項目)

(1) 所重点指標による評価

ハローワークのマッチング機能に関する重要業務のうち、地域の雇用に関する課題等を踏まえ、ハローワークごとに重点として取り組む業務に関する指標に基づく評価

- 障害者の就職件数
- 正社員求人数
- 生活保護受給者等の就職件数 など

(2) 所重点項目に対する評価

中長期的なマッチング機能向上のための、職員の資質向上の取組や継続的な業務改善の取組等の実施状況の評価

- 職員による事業所訪問の実施
- 求職者担当制の実施
- 職員による計画的なキャリア・コンサルティング研修の受講
- 好事例を導入した業務改善を実施 など

ハローワーク総合評価の方法

総合評価は年度単位で実施する。年度終了後に、ハローワークごとに、年度合計の指標・項目の実績をポイント化し、それを合算して、評価する。

①年度当初に定めた目標への達成状況を基に、指標ごとに、予め定められたポイント数の範囲内で、ポイントを付与する。

A指標の目標達成率



A指標のポイント数



〇〇ハローワークの
A指標のポイント

※目標達成状況によるポイントは、所重点項目を除く各指標(主要指標・補助指標・所重点指標)について計算。

②業務実績が例年より上回った場合に、ポイントを付与する。

※主要指標について、過去3年間の実績と比較し、過去3年間の平均を上回る場合にポイントを付与。

③所重点項目の実施状況を基に、ポイントを付与する。

※中長期的な観点から必要となる職員の資質向上のための取組や継続的な業務改善の取組を実施した場合にポイントを付与。

①～③のポイントを合計し、ハローワークごとに、総ポイント数を計算する。

類似するハローワークからなるグループ内で、総ポイント数等を比較し、評価する。

※労働市場の状況や業務量が同程度のハローワークを11グループに分類。

※評価は本省で実施し、評価結果を労働政策審議会に報告。

※評価結果は、ハローワークにおいても、実績値、業務改善事項、総合評価結果(4段階)等をまとめて公表。

ハローワーク総合評価の評語

評語決定方法

- 各グループごとに平均値を基準とし、平均値以上を類型1・2、平均値未満を類型3・4に区分
- 目標達成率100%を「満点」とみなし、「満点」以上を類型1
 （「満点」について、目標達成率が100%以上の場合は「満点」を超える場合があり得る。）
- 規模が大きいグループ1は平均値の90%未満、グループ2～5は平均値85%未満を類型4
 （それ以外のグループは平均値の80%未満。）

類型	総合評価の評語
1	非常に良好な成果
2	良好な成果
3	標準的な成果
4	成果向上のため計画的な取組が必要

(参考)

評価グループ	満点	平均値
1G	1235	1112
2G		1089
3G		1086
4G	1220	1037
5G		1052
6G		1053
7G		1054
8G		1051
9G		1073
10G		1038
11G		1042

グループ1

所名	評価
飯田橋	標準的な成果
品川	標準的な成果
渋谷	標準的な成果
新宿	良好な成果
池袋	良好な成果
立川	標準的な成果

グループ2

所名	評価
上野	標準的な成果
大森	良好な成果
足立	標準的な成果
墨田	良好な成果
木場	良好な成果
八王子	標準的な成果
三鷹	標準的な成果
府中	標準的な成果

グループ4

所名	評価
王子	標準的な成果
町田	標準的な成果

グループ5

所名	評価
青梅	標準的な成果

ハローワーク飯田橋 就職支援業務報告（平成 28 年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

当所は本社機能をもつ事業所が数多く所在する千代田区、中央区を所管していることから全国のハローワークに求人情報を提供する求人拠点所としての役割を有している。このため重点目標を正社員求人の確保に据え、特に求職者ニーズの高い事務職・営業職の正社員求人の確保を目的とした求人開拓を行った。結果として目標 90,635 人に対して 101,444 人の正社員求人を受理し目標達成率 112%であった。

また、確保した正社員求人に対しては求人に対する担当制による重点的な支援により、詳細な求人ニーズを把握することで、画像情報・求人票以外の補足情報を着実に取得するとともに、能動的マッチングを行う観点から、求人部門が主体となり、対象求人に適合した求職者を選定した上で、求職者へ情報提供するなど充足を意識した支援を行った。さらに就職面接会、ミニ面接会を実施するなど充足対策を行い、特に、ミニ面接会を 100 回開催し、就職件数が 112 件と大きな効果があった。

一方、求職者に対しては、求職者担当制による重点的な支援により、きめ細かな職業相談を実施することで、支援対象者を 1,058 人選定し、就職件数 495 件、就職率 46.8%となった。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

利用者満足度調査では、「案内表示」、「見やすいポスター掲示」、「わかりやすい陳列」の評価が厚生労働省の目安値を下回ったことから、掲示しているポスターすべてについて見直し、期日が終了しているもの・見づらい場所に掲示しているもの等について撤収するとともに、庁舎内のわかりにくい案内表示の改善を行った。

（3）今後のサービス・業務改善の取組について

正社員就職件数の実績が低調であったため、庁舎内に「正社員を目指す方へ」、「正社員急募求人コーナー」と題したコーナーを設置し、正社員求人への応募を積極的に PR し、所内全体で正社員就職を目指す機運の醸成を図ることとする。

また、福祉分野については、新規求人を中心とした充足対策に重点を置き、求人条件の見直しに向けた求人者への働きかけを行い、さらにツアー型面接会の継続開催、介護関係の訓練修了者を対象とした面接・相談会を実施することにより、福祉分野における就職件数の増加を見込んでいく。

2 総合評価 (※)

標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険 受給者 早期再就 職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	紹介 成功率	障害者の 就職件数	学卒ジョブサポ ーターの支援 による正社員 就職件数	ハローワークの職業 紹介により、正社員 に結び付いたフリー ター等の件数	正社員 求人数	正社員 就職件数	介護・看 護・保育 分野の 就職件数	建設分野 の就職件 数	チーム支 援による 障害者の 就職件数	開拓求人 の充足数
実績	5,853	27,659	1,204	95.9%	96.5%	9.0%	430	751	1,459	101,444	2,643	270	160	195	4,323
目標	6,435	29,970	1,245	90.0%	90.0%	8.0%	419	740	1,504	90,635	3,086	380	159	187	4,320
目標達成率	91%	92%	97%			113%	103%	101%	97%	112%	86%	71%	101%	104%	100%
(参考)過去3年度平均	6,300	31,089	1,284												

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク品川 就職支援業務報告（平成28年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

平成26年度以降の新規求人数が全国1位となっており、管内に全国展開企業の本社が多数所在することから、新規求人のおよそ4分の3は就業場所が管外であるなど、全国のハローワークへ求人情報を供給する役割を有している。

このため、第一に、正社員求人の確保として、人手不足分野である介護職等の求人について、求職者ニーズ、正社員求人のメリット等を事業主に説明し正社員求人化を図ったところ正社員求人数が大きく増加した。

また、事務処理の遅れや不備によってマッチングの時機を逸することがないように、適正・適法・迅速な求人受理に取り組んだ。

さらに充足を促進するため、平成28年7月の庁舎移転を機に、広いエントランスホールを活用した求人・事業所情報の掲示、及び、求人者と求職者の出会いの場としてのPRブースの設置など、積極的な求人情報提供に取り組んだ。

一方、職業相談については、求職者減少対策として、雇用保険の認定から職業相談窓口への誘導強化を図るとともに、就職件数を確保するため紹介倍率を重視した窓口運営を行った。

さらには、潜在求職者の開拓として、当所へのアクセスが不便で、利用者の増加が見込める品川区八潮地域について、区役所と連携して出張相談を2回開催した。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

求人関係では、求人数増加に伴う求人受理の事務処理遅延を防止するため、求人事業主の理解を得つつ、過去の求人票を用いた求人申込の比率を高め、業務効率化を図った。

また、庁舎の広いエントランスを活用し、求人・事業所情報の掲示、催事用テントを用いた企業PR（ハロワ de メッセ）など求人情報提供の充実・強化を行った。

このほか、新たな取組として、充足してもなお有効中の求人に対して求人更新を勧奨する取組（充足求人フォローアップ）、適正な求人票作成・選考を促す求人事業主向けセミナーを行った。

職業相談関係では、雇用保険受給者の認定から職業相談窓口への誘導を徹底し、職業紹介に努めることで雇用保険受給者の就職促進に取り組んだ。

また、城南職業能力開発センターと連携し、庁舎 1F エントランスに職業能力開発校の PR コーナーを設置。求職者に対して職業訓練カリキュラム等を周知することにより受講勧奨を行った。

(3) 今後のサービス・業務改善の取組について

求人関係については、新規求人件数が増加の一途であることから、求人受理体制を維持するため、大部門制（事業所第一・第二）への移行、求人者支援員の業務分担の見直しなど、より効率的な業務運営に取り組むとともに、新規事業所訪問などの絞った求人充足対策にも取り組む。

職業相談関係については、職業相談員の勤務時間が変更されたこともあり、雇用保険受給者の認定時間の設定の見直しを行い、継続して窓口の活性化、受給者の就職促進に取り組む。

また、平成 29 年 7 月 18 日にマザーズコーナーを開設することで、管内 2 区（港区・品川区）の関係部署との連携を強化し、ハローワーク利用者の職業相談・紹介はもとより、保育関係の情報を提供していくとともに、管内企業における子育てに配慮した求人の確保に努める。

(4) その他業務運営についての分析等

昨年 7 月の新庁舎移転により、移転に伴う周知広報、交通利便性の向上に加え、恵まれた庁舎環境を得たこと、そのことで職員・相談員の士気・サービスが向上したこと等により、当ハローワークのイメージアップが図られた。利用者満足度調査でも高い評価を得ることができた。

2 総合評価（※）

標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足数	雇用保険受給者 早期再就職 件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	紹介 成功率	生活保護 受給者等 の就職件 数	障害者の 就職件数	学卒ジョブ サポーター の支援によ る正社員就 職件数	正社員に結 び付いたフ リーター等 の件数	正社員求 人数	正社員就 職件数	介護・看 護・保育 分野の就 職件数	一体的実 施事業 (一般 型)の就 職件数	正社員開 拓求人 の充足 件数
実績	3,586	17,301	2,059	98.2%	94.7%	9.6%	261	258	212	886	112,591	1,769	258	795	1,233
目標	3,880	18,315	1,935	90.0%	90.0%	9.0%	260	232	180	1,109	97,980	1,949	310	750	1,200
目標達成率	92%	94%	106%			107%	100%	111%	118%	80%	115%	91%	83%	106%	103%
(参考)過去3年度平均	4,445	19,101	2,027												

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク渋谷 就職支援業務報告（平成28年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、マザーズ事業の拡充により、ひとり親担当ナビゲーターが配置されたことから、本所・自治体との連携を強化し、ひとり親求職者の取り込みと就職実現に向けた支援を強化した結果、目標を大きく上回る実績を上げることができた。

また、求人部門と職業紹介部門との密接な連携のもとで効果的なマッチングを推進するため、「マッチング（求人充足）会議」を毎日開催した。この結果、マッチング対象求人の目標840件に対し、1,832件選定。対象求人充足数の目標420件に対し、834件を挙げることができた。マッチング対象求人は、職業相談窓口での提案紹介や個別支援対象者等への情報提供に活用し、能動的マッチングに役立てた。

さらに、管内の基礎自治体（渋谷・世田谷・目黒区）と連携して開催するなどの取組を推進し、目標65回のミニ面接会を125回開催し、参加者932人、168件の就職（就職率18%）に結びつけた。ミニ面接会では、求人票以上の事業所情報を提供するとともに企業担当者と直接相談できる機会を設けることにより、求職者からは、「求人票だけでは分からない社風や企業カラー、雇用管理面などを理解したうえで面接でき、参加して良かった。」などの評価をいただいた。

一方、求人者からは、「多数の応募者と面接を行い、履歴書などの書類だけでは分からない応募者の熱意や人柄などをその場で確認することができた、適格者を採用することができた。」などの声をいただいた。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

①潜在求職者の開拓のための広報

新規求職者数が減少傾向にあるため、従来から、魅力的なホームページの作成、管内公共機関（区役所、図書館など）へのハローワーク利用勧奨用リーフレットの配架に努めているが、新たな広報策として管内ターミナルの渋谷駅周辺に設置されている屋外大型ビジョン（8箇所）にハローワーク渋谷（本所、マザーズハローワーク東京、東京わかものハローワークの3種類）の広報広告を定期的に放映し、潜在求職者の開拓に努めた。

②待ち時間（目安）についての情報提供

管内事業所は、アパレルショップをはじめ新規に開設する個人事業主が多く、雇用保険関係手続きに長時間の相談を要する場合が多く、

雇用保険適用関係窓口は常態的に混雑していることから、該当窓口にはボイスコールを設置し、設置・取得・喪失・雇用継続給付などの手続きごとに窓口待ち人数を画面表示することで、待ち時間の目安をお知らせした。

③窓口対応改善の取組

ハローワーク利用者満足度調査において、「求人担当職員の説明が分かりにくい」との意見が多く寄せられた。このため、担当職員全員に対する業務研修を実施し、全員が同じ水準の知識を持ってできるように育成を図った。また、窓口対応について求人者からの苦情が発生した場合には、責任者が速やかに対応を図るなど、窓口体制の整備に努めた。

(3) 今後のサービス・業務改善の取組について

新規求職者が減少傾向にある中、効果・効率的にマッチングを推進するためには、来所された求職者を可能な限り職業相談窓口へ誘導し、マッチング求人の提供などによる職業紹介機能を向上させる必要がある。

このため、求人検索パソコンの利用後に、就職支援セミナーや職業講習会の受講後等における職業相談窓口への求職者の誘導を徹底するため、窓口相談のメリット（キーワード検索機能、希望求人の応募状況等の確認、マッチング求人の提供等）についての周知強化を図る。

また、窓口へ誘導できた求職者に対しては、「+2サービス」(※)を推進し、付加価値のある情報提供や職業相談を推進していく。

(4) その他業務運営についての分析等

当所には、本所のほかに、「マザーズハローワーク東京」、「東京わかものハローワーク」及び「ふるさとハローワーク（世田谷・目黒区）」が設置されており、それぞれの特徴を活かしたマッチングを推進し、各施設の職員から構成される「拡大マッチング会議」を開催することにより、「オール渋谷所」として、より効果的にマッチングを図る。

(*)「+2サービス」：来窓した求職者が希望の求人票を持参している、いないに関わらず、必ず職員の視点で選定した求人についての情報提供を行い、応募を促すこと。また、紹介が決まった求職者に対しては、応募書類の作成状況を確認し、できていない場合には、リーフレットの手交や簡易なアドバイスを行うこと。

2 総合評価 (※)

標準的な成果

3 特記事項

「夏休み期間中における面接トレーニングの実施」

新規高校卒業予定者を対象に7月から9月にかけて、各学校、渋谷所会議室等を会場として就職希望の生徒に対して、「グループワーク（一部、ビデオを活用）」と「模擬面接」からなる面接トレーニングを延べ16回開催し、生徒184名が参加した。

参加した生徒からは、「面接の練習は学校で行っていたが、自分の面接態度をビデオで見ると、できていないことが分かった。」「他の生徒の面接場面を見ることができ、大変参考になった。」、先生からも「生徒のモチベーションが上がって就職活動が積極的になった。」などの意見をいただき、夏休み中の対策が早期の内定に結びつく結果となっている。

4 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受 給者早期再 就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	紹介 成功率	生活保護受 給者等の就 職件数	学卒ジョブ サポーター の支援によ る正社員就 職件数	正社員に結 び付いたフ リーター等 の就職件数	MH事業に よる就職支 援を受けた 重点対象者 の就職率	正社員 求人数	正社員就職 数	建設分野の 就職件数	高齢者(60 歳以上)の 就職件数	ひとり親求 職者の就職 率
実績	9,335	15,761	4,636	81.3%	98.1%	10.3%	366	775	3,164	95.6%	103,822	4,894	177	1,509	35.1%
目標	10,110	17,275	4,920	90.0%	90.0%	8.6%	468	725	3,181	88.5%	92,205	5,444	228	1,570	19.0%
目標達成率	92%	91%	94%			120%	78%	107%	99%	108%	113%	90%	78%	96%	185%
(参考)過去3年度平均	10,320	18,069	4,890												

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク新宿 就職支援業務報告（平成28年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、主要指標の就職件数及び雇用保険受給者の早期再就職件数を最重要と考え、特に東京マッチング強化事業の対象求職者に対する担当者制等による個別支援強化及び職業相談窓口利用が確実に見込める雇用保険受給者に対し、受給期間中の全認定日に職業相談を実施できるよう職業相談窓口の支援体制を整備・強化した。

また、就職件数の目標達成のため、窓口及び訪問等による求人開拓、特に正社員求人の確保についても積極的に取り組んだ。

結果、就職件数目標達成率は93%、雇用保険受給者の早期再就職件数目標達成率は95%と、目標に届かなかったが東京マッチング強化事業の対象求職者就職件数は202%、正社員求人数は115%と目標を大きく上回ることができた。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

求職者の減少等で困難性を増す管内求人企業の人材確保支援を積極的に図るため、特に人材確保に苦戦する福祉系職種（介護・看護・保育）求人等を重点にミニ面接会及びツアー型面接会等の能動的充足支援を積極的に展開した。

その結果、年度当初の目標74回を上回る94回の面接会を実施し、ミニ面接会、ツアー型面接会等に参加した企業から好評を得たことに加え、就職件数も当初目標51件に対し、108件の倍増以上の成果を上げることができた。

（3）今後のサービス・業務改善の取組について

- ・一般求職者及び雇用保険受給者の職業相談窓口利用の更なる促進を図るため、総合受付における声掛けに加え、職業相談窓口支援メニューを記載した案内リーフレットの配付等により、利用者に対する職業相談窓口への誘導を積極的に進めていく。
- ・未充足求人のフォローアップ強化に向けて、求人部門による各求人内容に沿った充足支援メニューの提供、実施等に加え、職業相談部門による提案型紹介の拡充等、求人・相談部門双方による充足支援の強化を進めていく。

（4）その他業務運営についての分析等

平成28年度における紹介件数の減少幅が新規求職者の減少幅を大きく上回るという状況であったことから、職業紹介業務を実施する全施設

において、利用者の職業相談窓口への誘導強化を図り、積極的な提案型紹介による職業紹介件数の向上に重点的に取り組むこととした。

2 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給 者早期再就職 件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	紹介 成功率	生活保護 受給者等 の就職件 数	障害者の 就職件数	学卒ジョブ サポータ ーの支援 による正 社員就職 件数	ハローワーク の職業紹介に より、正社員 に結び付いた フリーター等 の件数	正社員 求人数	正社員就 職件数	建設分野 の就職件 数	東京労働局 マッチング 強化事業の 対象求職者 就職件数	外国人の 就職件数
実績	13,625	19,921	4,354	96.8%	100.0%	9.8%	998	612	11,985	4,401	102,142	7,633	437	1,821	2,399
目標	14,695	19,130	4,603	90.0%	90.0%	8.5%	1,128	610	10,400	4,364	88,560	9,578	470	900	2,350
目標達成率	93%	104%	95%	/	/	115%	88%	100%	115%	101%	115%	80%	93%	202%	102%
(参考)過去3年度平均	15,664	19,824	4,621	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク池袋 就職支援業務報告（平成 28 年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、来所した 65 歳以上の高齢者に対して積極的に生涯現役窓口へ誘導し、個別支援及び提案紹介を行うことで生涯現役支援窓口での 65 歳以上の就職率目標 53.6%に対して、結果 63.8%と目標を上回ることができた。

また、当所は全国でもいち早く福祉専門コーナー（ハートフルワークコーナー）を設置し、一定の実績や新たな取組を行ってきた。

「一億総活躍社会」の実現の一環として、特に保育士不足対策を重点として取り組み、関係自治体や関係私立保育園関係者等から高い評価を受け、その結果業務改善コンクールで顕彰された。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

利用者アンケートでは、ポスター掲示、リーフレットの陳列が分かりづらいなどの意見が多かったため、無規則に貼付・配架されていたポスター、パンフレット類の展示方法を整理し、求職者にとって見やすい展示とした。また、求人票の展示についても「ハートフルコーナー」「ヤングコーナー」などに分類したことで展示求人の注目度が上がり、応募のための窓口利用につながった。

（3）今後のサービス・業務改善の取組について

当所にあるランチ（ハローワークプラザ成増、ワークサポートねりま）において、ミニ面接会の開催状況は成増 2 回、ねりま 6 回であった。両ランチとも利用者が減少している中で、地元での認知度を上げ利用促進を図っていくため、事業所部門と連携し板橋区・練馬区の事業所を中心に、定期的なミニ面接会を開催していく。

雇用保険受給者については、2 回目認定日以降の全員相談、給付制限中の指定相談日を設定するなど、受給者に対する取組を強化する。なお、単に相談を実施するのではなく、相談時において提案型紹介を中心に、受給期間内早期再就職の実現を図っていく。

また、平成 29 年度から全国 12 か所に設置される「人材確保対策コーナー」が東京では当所に指定され、人手不足業種（建設・運輸・警備等）に対する支援を実施していく。

（4）その他業務運営についての分析等

新規求職者の減少傾向が続くなか、管内自治体はもとより近隣市との連携も視野において、ブランチも含めた利用促進のための広報活動の展開を図っていく。また、近隣ハローワーク（飯田橋・新宿・朝霞等）、との連携を強化する。

2 総合評価（※）

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 特記事項

職業相談部門、事業所部門が連携した事業所訪問等の取組により、職員・相談員一人一人のマッチング意識を向上させ成果を上げられるよう、平成 29 年度においても実施していく。

4 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給 者早期再就職 件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	紹介 成功率	障害者の 就職件数	学卒ジョブ サポータ ーの支援 による正 社員就職 数	ハローワークの 職業紹介により、 正社員に結び付 いたフリーター等 の件数	マザーズハロー ワーク事業にお ける担当者制に よる就職支援を 受けた重点支援 対象者の就職率	正社員 求人数	介護・看 護・保育分 野の就職 件数	生涯現役 支援窓口 での 65 歳 以上の就 職率	東京労働 局マッチン グ強化事 業の対象 求職者就 職件数	開拓求人 の充足数
実績	11,936	12,825	5,184	100.0%	97.2%	10.5%	586	1,576	3,093	90.4%	63,741	1,529	63.8%	565	2,025
目標	13,245	14,065	5,431	90.0%	90.0%	9.5%	586	1,285	3,356	88.5%	60,720	1,700	53.6%	420	2,280
目標達成率	90%	91%	95%			111%	100%	123%	92%	102%	105%	90%	119%	135%	89%
(参考)過去3年度平均	14,109	14,451	5,366												

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク立川 就職支援業務報告（平成28年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、就職件数の目標達成を最重点と捉え次の対策を重点的に取り組んだ。

- ・マッチング求人、お薦め求人のほか職員が日々選定した求人を積極的に活用し、提案型紹介、来所勧奨型紹介を積極的に実施するとともに、来窓した求職者については、その後の継続的な支援のため個別支援に取り込み就職まで支援してきた。
- ・当所の新規求職者（常用）の年齢構成をみると30歳以下の若年層が32.3%と最も多くなっており、このため、若年者の就職支援を強化するため、28年10月から新たに、若年層の雇用保険受給者を対象に職業講習会をJOBぷらっとで毎週火曜日に開催し、60分枠のうち後半15分間はミニ面接会開催予定事業所による企業説明を行うとともに、終了後はJOBぷらっと内のヤングコーナーに誘引し個別支援につなげるなど、支援の強化に取り組んできた。
- ・平成27年4月に多摩地域に初めて開設されたマザーズハローワークは管内各市との連携強化を図り、積極的なセミナーの開催などにより新規求職者の取り込み、個別支援による就職支援を強化した。その結果、新規求職者全体が減少している中、前年比+4.6%の実績となり、就職件数も前年比+1.3%と効果が表れてきている。
- ・自治体との連携による就職面接会は年間6回開催し、求人数545人、参加者数525人、採用件数81件となり、各自治体から継続実施を要望されている。
- ・当所にはハートフルワークコーナーが設置されており、介護、保育等福祉分野を中心に、ツアー型面接会26回、ミニ面接会11回開催し177件の採用があがるなど、同コーナーによる年間就職は全所の約15%を占めている。
- ・新規求職者が減少している中で、ハローワークを知り、利用してもらうため、各種セミナーを積極的に開催し、セミナー参加者の個別支援への取り込み、若者のハローワーク利用の促進などリピーター対策にも効果があった。
- ・求人部門が主体となる充足会議、マッチング推進会議を定期的に行い、職業相談部門と連携した一体的な求人充足対策の実施をしてきた。
- ・マザーズハローワーク及びふるさとハローワークの求人ニーズのきめ細やかな把握及び求人を確保するため、求人者支援員等との定例ミーティングの実施や巡回訪問（月2回）を新たに実施することで連携によるマッチング強化を行った。
- ・上記の様々な対策を講じたことから年間就職目標件数9,660件に対して実績は9,335件（達成率97%）とわずかに目標は達成できな

かったものの、雇用保険受給者の就職目標件数 2,870 件に対して実績 2,996 件（達成率 104%）と目標達成した。

(2) サービス改善・業務改善を図った事項

- ・「職業相談フロアでの各コーナーのサービス内容がわかりにくい」等の声もあり、就職ガイドブックを全面的に改定し改善を図った。
- ・付属施設、ふるさとハローワークを含め、ハローワークの利用を勧めるためのポスター掲出や自治体記者クラブを活用するなどハローワークの取組についての周知、広報を行った。
- ・マザーズハローワークへの誘引を図るため、各市との連携強化に努め、各市庁舎に周知用チラシの配架をした。また、東村山市では託児付セミナーを開催し参加者にマザーズハローワークの利用勧奨を行うなどの周知・広報の充実を図った。なお、東村山市の事業は好事例として管内各市に情報提供するとともに、各市での同様の仕掛けづくりの検討をお願いしている。

(3) 今後のサービス・業務改善の取組について

- ・新規の求職者の開拓のために、各市広報紙の利用とともに、新たに以下の取組を実施

- ① 各市が保有する掲示板へのポスターの貼り出し
- ② SNS（LINE）の運用
- ③ 管内スーパーマーケットへのリーフレット配架
- ④ 合同庁舎 1 階エントランスの活用（期間を決めたHW関連の周知・広報コーナー）
- ⑤ JOBぷらっとの周知(看板の設置)、あきしま就職情報室への看板設置
- ⑥ 潜在的保育士の開拓(土曜日面接会の定期的開催)

- ・きめ細やかな求人、求職のマッチングを目指して以下の取組を実施

- ① 合同面接会方式からミニ面接会方式に改め、個々のニーズに合わせた面接会とする（85回⇒112回）
- ② 高齢者向け求人情報誌(冊子)の作成と配架
- ③ 受給資格決定者向け求職受理コーナー新設による求職者ニーズの的確な把握
- ④ 東村山市でのマザーズハローワークとの連携による託児サービス付面接会の実施

(4) その他業務運営についての分析等

- ・応募しやすく、充足の可能性の高い求人を目指して、求人票の条件分析をするとともに、紹介統計等を活用し、業務の進行管理に努める。

2 総合評価 (※)

標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険 受給者早 期再就職 件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	紹介 成功率	障害者の 就職件数	学卒ジョブ サポータ ーの支援 による正 社員就職 件数	正社員に 結び付い たフリータ ー等の件 数	マザーズ ハローワ ークにお ける担当 制による 就職率	正社員求 人数	正社員就 職件数	生涯現役 支援窓口 での65歳 以上の就 職率	就職件数 全数	マッチング 対象求職 者就職件 数
実績	9,335	6,925	3,336	99.0%	96.3%	12.6%	452	1,200	2,379	90.1%	20,321	4,574	59.2%	10,432	552
目標	9,660	7,510	3,453	90.0%	90.0%	11.1%	448	920	2,479	88.6%	19,714	4,971	53.6%	10,700	300
目標達成率	97%	92%	97%			114%	101%	130%	96%	102%	103%	92%	110%	97%	184%
(参考)過去3年度平均	9,787	7,702	3,421												

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク上野 就職支援業務報告（平成28年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、台東区地域雇用問題連絡会議において計画した、台東区・東京商工会議所台東支部との共催による就職面接会の一部を、管内の産業の中心である宿泊・飲食サービス業に特化した面接会「たいとうおもてなし面接会」として、28年12月に開催した（結果：参加11社／面接78件／就職7件）。

また、台東区との連携による生活保護受給者自立支援、特別区と東京都によるホームレス自立支援（いずれも平成27年1月開始）について、2年度目となった28年度は、自治体等と定期的な連絡会議の開催や担当者間の連携の強化により、重点的に事業に取り組んだ結果、事業目標を達成した。

一方、充足対策として、庁舎入口のショーウィンドウの一部を「台東区事業所PRコーナー」として、管内事業所の紹介とともに拡大した求人票を展示した結果、事業所からは人手不足の解消につながるものとして評価され、さらなる事業の拡充に期待が寄せられている。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

利用者アンケートでは「待ち時間が長い」「処理の速い人と遅い人がいる」といった声が寄せられたため、「お待たせしない」をモットーにこれまでの「10分待ちで応援体制発動」を職員に再徹底した。また、研修やOJTを通じて、処理の迅速化・相談の質の向上に努めた。さらに、利用者の皆様が待ち時間を有効利用いただけるように、所要時間の目安の表示、声掛けを実施した。

（3）今後のサービス・業務改善の取組について

ヤングコーナーにおける「業界研究会」、職業訓練受講者向けの事業所説明会、就職面接会、ツアー型面接会などのイベントによる事業所PRを実施するほか、「ユースエール認定企業」「若者応援宣言企業」のハローワーク内での事業所紹介、庁舎入口ショーウィンドウの「台東区事業所PRコーナー」などにより、引き続き地域産業の活性化を意識した事業所のPRを展開する。また、職業紹介窓口においても、積極的に管内の事業所紹介に取り組み、求人・求職相互のニーズに沿ったマッチングに努める。

（4）その他業務運営についての分析等

若年者の支援対策として平成 27 年度に拡充した「ヤングコーナー」では、若者向け就職支援セミナーをシリーズ 4 回を 1 セットとして毎月実施。さらには、担当者制支援によるフォローアップ、雇用保険受給者に対する全員継続相談として初回認定日相談、給付制限中の認定応答日相談、2 回目以降の認定日相談など、窓口誘導の徹底と就職支援を展開した。コーナーの就職率は 19.1%で、前年度の 18.7%を 0.4p 上回っていることから、引き続き若年者支援の充実・強化を図り、前述の事業所 P R と併せ、マッチングに努めた。

また、増加傾向にある高年齢求職者に対しては、ペーパー・ファイルによる求人票の展示や丁寧な窓口相談を実施し、就職支援のさらなる拡充を図った。

2 総合評価 (※)

標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	紹介 成功率	生活保護受 給者等の就 職件数	障害者の就 職件数	学卒ジョブサ ポーターの 支援による 正社員就職 件数	ハローワークの 職業紹介により、 正社員に結び付 いたフリーター等 の件数	正社員求人 件数	高齢者(60 歳以上)の 就職件数	ホームレス 自立支援事 業の就職率
実績	3,280	5,355	687	96.1%	99.0%	9.6%	235	190	324	918	20,984	698	85.4%
目標	3,107	5,353	739	90.0%	90.0%	9.3%	216	187	320	966	18,240	780	80.0%
目標達成率	95%	100%	93%			103%	109%	102%	101%	95%	115%	89%	107%
(参考)過去3年度平均	3,691	5,827	736										

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク大森 就職支援業務報告（平成28年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

地域の労働力需給調整機関として基礎自治体との連携・協力を最重点と考え、大田区及び事業主団体等の関係機関により構成する「大田区地域労働関係協議会」を運営するとともに、次のような就労支援事業を推進した。

生活保護受給者等の就職支援対策として、自治体とハローワークとの一体的支援事業である「おおた就労支援コーナー（大田区役所内に設置した常設窓口）」を運営するとともに、高齢者等への支援策として「地域別パートタイム就職面接会」「高齢者向け合同面接会」を開催するなど、大田区をはじめとした関係機関との連携により各種就労支援事業を行った。また、介護・保育分野の支援策として、事業主団体とも連携のうえ「おおた介護のお仕事定例就職面接会」を毎月開催するとともに、「大田区私立保育園就職フェア」において面接相談会を共催するなど、人手不足分野における人材確保対策に積極的に取り組んだ。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

利用者アンケートや職員からの提案・意見により、求人情報等の所内掲示物について、掲示物の目的別整理、掲示スペースごとの責任者の選任などを行い、観やすさを意識した管理を行うとともに、総合案内からの窓口誘導について導線の床面表示を行うなど、利用者目線に立ったサービス改善を行った。また、求職者担当制による就職支援の強化や年齢別職業講習会の開催などにより、求職者サービスの充実を図った。

（3）今後のサービス・業務改善の取組について

管内事業者のニーズに応えるため、求人に対する担当制などによる求人充足サービスを充実・強化するとともに、求職者への個別支援や提案型紹介などにより、求人・求職のマッチング向上を図る。また、利用者からの意見等を的確に把握し、引き続き利用者目線でのサービス向上に努める。

（4）その他業務運営についての分析等

求職者・求人数の減少により、就職件数・充足数について十分な実績を確保することができず目標未達成となった。特に、充足数については、年度途中で大量求人企業（求人シェア約12%）が他管轄へ転出したことから求人数が急激に減少し、その影響もあり目標達成率は92%となった。平成29年度においては、新規求人の確保とその充足に力を入れていきたいと考えている。

2 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 特記事項

大田区や事業主団体等の関係機関とは、「大田区地域労働関係協議会」を組織するとともに幹部同士が定期的に情報交換を行っており、面接会等の共同開催や町内掲示板等を活用した周知・広報など、相互に協力する連携体制ができています。特に生活保護受給者等の就職支援を行う「おた就労支援コーナー（区役所内）」においては、ハローワーク職員と同一施設内の担当ケースワーカーや支援員が日常的に連携を図ることで、個々人に応じた効果的な就労支援が可能となっており、就職者数についても目標以上の実績を確保できた。

今後も大田区等関係機関との連携体制を堅持し、就職困難者への就職支援や人手不足分野における人材確保等の雇用対策を展開するとともに、「ものづくり」産業が活発な町であるという地域の特性を生かした施策を積極的に実施する。

4 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度(求人者)	満足度(求職者)	紹介成功率	生活保護受給者等 の就職件数	障害者の就職件数	ハローワークの 職業紹介により、 正社員に結び付 いたフリーター等 の件数	マザーズハロー ワーク事業にお ける担当者制に よる就職支援を 受けた重点支援 対象者の就職率	正社員求人数	正社員就職数	生涯現役支援窓口 での65歳以上の就
実績	6,409	6,021	2,504	94.0%	96.4%	15.8%	416	260	1,920	89.6%	19,544	3,211	58.9%
目標	6,655	6,565	2,533	90.0%	90.0%	13.1%	342	243	1,962	88.6%	20,054	3,552	53.6%
目標達成率	96%	92%	99%			121%	122%	107%	98%	101%	97%	90%	110%
(参考)過去3年度平均	6,993	7,108	2,478										

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク足立 就職支援業務報告（平成28年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

【自治体との連携による面接会の開催】

足立区・荒川区とも就労支援対策に力を入れており、職業安定行政に大変協力的であることから、両区と連携（共催）した就職面接会をマンスリー面接会として、毎月1回、年間12回実施した。対象求人については、開催ごとに正社員求人や介護・看護、警備・建設、高齢者向けなど、各回ごとに特色を設け、幅広い求職者に対応した面接会となるよう工夫した。また、近隣安定所や自治体の協力を得て、広く周知を行っており、参加者延べ430人、就職者数70人の成果を上げることが出来た。29年度は、引き続きマンスリー面接会を実施するとともに、交通の便の悪い地域において区の施設を利用したミニ面接会を開催し、充足対策の拡充を図る。

【雇用保険受給者の認定時における原則全員相談】

当所に設置した再就職支援委員会において、7月から検討を行い、8月に試行実施し9月から全面実施した。対象者については「積極的にハローワークを利用している者」、「自分で探すのでハローワークは利用しない者」を受給資格者証で確認し、その者を除く他の相談窓口誘導該当者については認定後、受給資格者証をファイルに入れて、相談窓口へ誘導していることにより、確実に相談数は伸びている。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

【ハローワーク内におけるポスター、パンフレット等の掲示方法】

職員によるサービス総点検を行ったところ効果的な広報に疑問との意見があり、以下の点について改善を図った。

求職者の目線に立った掲示、配架を検討し、種別（面接会、訓練、若年、高年齢者、ハートフル、その他関係機関等）ごとにわかりやすく分けて配置することにより、求職者の方が見やすい、探しやすい環境を作った。

7階通路の壁面に「画像情報付求人」コーナーを作り、画像情報付の事業所PRシートと求人票をセットで貼り出すことにより、会社や仕事内容をイメージしやすくし、マッチングの向上に努めた。

ハローワークの周知・広報を積極的に図るため、京成線千住大橋駅に配置してある足立区広報スタンドと荒川区コツ通り商店街の自治会看板（18か所）の使用について協力を頂き、施設案内、イベント案内等のリーフレットを掲示した。

(3) 今後のサービス・業務改善の取組について

管内には著名企業が少なく、有効求人倍率は、1倍を前後していることから管内充足が困難である。このため、求人充足対策として、求人受理時における求人内容の確認はもとより、求職者目線に立った、わかりやすく応募しやすい求人となるよう、求人コンサルティングを徹底する。また、非正規求人を申し込む事業主に対しては、正社員求人のメリットを説明し、正社員求人への転換を促進していく。

マザーズハローワーク日暮里、日暮里わかものハローワークにおいて、新規求職者を取り込み、個別支援に繋げて就職数の向上に努める。

(4) その他業務運営についての分析等

新規求職者が減少する中、就職数、紹介件数、充足数の目標達成が厳しい状況であった。景気回復基調にあつて、今後も求職者の減少は続くと思われるため、ハローワークに必ず来所する雇用保険受給者の就職支援を更に強化していく必要があり、早期あつせん対象者、マッチング対象者の選定を積極的に行い、提案紹介を実施していく。また、引き続き、わかりやすく、応募しやすい求人票の作成を行い、管内求人に対するマッチングを強化する。

2 総合評価 (※)

標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 特記事項

○地方自治体との連携

・当所の管轄である足立区、荒川区は、両区とも産業経済部就労支援課を設けており、雇用対策に力を入れている関係でハローワークとも非常に協力的であり、地域雇用問題連絡会議を同時開催したり就職面接会を三者共催にするなど、両区との連携を密に情報を共有しながら事業を進めている。

○生活保護受給者の就職支援

・管轄である荒川区、足立区と一体的となって生活保護受給者等の自立に向けた就職支援を積極的に実施している。28年度8月より足立区の一部事務所において、区の就労支援員を介さずに直接ケースワーカーからハローワークの専門相談員に就労支援を依頼する流れを始めたところ、当初は支援要請件数が伸びなかったが、ハローワークの就労支援内容についてケースワーカーに研修を行うことにより、徐々に支援要請件数が増え始め、就職実績については目標を大幅に達成することが出来た。

4 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	紹介 成功率	生活保護受 給者等の就 職件数	マザーズハロー ワーク事業に おける重点 支援対象者 の就職率	正社員求人 数	正社員就職 件数	介護・看護・ 保育分野の 就職件数	生涯現役支 援窓口での 65歳以上の 就職率	地方自治体等 と連携した就 職面接会の実 施による就職 者数
実績	8,943	7,617	3,080	96.2%	96.2%	14.1%	812	89.2%	21,506	4,521	931	52.7%	70
目標	9,350	8,050	3,223	90.0%	90.0%	11.7%	666	88.5%	22,452	4,733	1,050	53.2%	66
目標達成率	96%	95%	96%			121%	122%	101%	96%	96%	89%	99%	106%
(参考)過去3年度平均	9,293	8,450	3,264										

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク墨田 就職支援業務報告（平成 28 年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、障害者の就職件数の目標達成を重要と考え、関係機関とのチーム支援に積極的に取り組むとともに、障害者個人の障害特性を的確に把握したうえでマッチングを行った。

また、雇用保険受給者の早期再就職を図る取組については、早期あっせん対象者の選定の拡充を図るとともに、所内にポスターやリーフレットの配架を行い、早期再就職意欲の喚起に努めた。

さらに、マッチング強化の取組については、ミニ面接会・ものづくり会社説明会・見学会を積極的に開催し、管内の中小企業と墨田所利用者等のマッチングに努めた。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

これまでの就職面接会は完全予約制で開催していたが、一定数しか予約が取れない、当日キャンセルといったデメリットがあったことから、平成 28 年 11 月以降の合同就職面接会はフリー参加方式に改めたことにより、企業と多数の求職者との面接が可能となった。

（3）今後のサービス・業務改善の取組について

当所利用者の早期就職を実現するため、職業相談窓口での求人情報の提供・提案紹介の実施、雇用保険受給中の方への職業相談窓口への誘導、ミニ面接会や会社見学会等の開催を積極的に行っていく。また、29 年 3 月に移転した「かつしかワークプラザ」の周知を徹底することにより、当該施設の利用促進を図る。また、求職者ニーズの高い求人を受理した際に、速やかに紹介部門、求職者に対しての情報提供を行い、早期就職促進を図る。

（4）その他業務運営についての分析等

平成 28 年度の新規求職者数は前年比▲ 7.3%、紹介件数は前年比▲ 12.4%、就職件数は前年比▲ 9.2%といずれも減少し、今後も新規求職者の減少は続くものと思われるため、各自治体との連携などにより、新たな利用者の開拓に努める。

また、新規利用者等へサービスメニューをしっかりと案内することや、的確な就職支援及び懇切・丁寧な対応を行うことにより、墨田所利用

者のリピーター化を図る。

2 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 特記事項

<人手不足産業の人材確保>

人手不足産業における人材確保対策として、福祉分野（介護・保育）については、当所1階専用ブースにて定期的に会社説明会を開催するとともに、介護・保育系のイベントを墨田区・葛飾区と連携して開催している。

また、警備・運輸業の面接会等を年/各4回以上開催し、警備・運輸業の人材確保に努める。

4 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	紹介 成功率	障害者の 就職件数	チーム支援に よる障害者の 就職件数	学卒ジョブサポータ ーの支援による正社 員就職数	ハローワークの 職業紹介により 正社員に結びつ いてフリーター等	正社員 求人数	正社員 就職件数	高齢者(60 歳以上)の 就職件数
実績	9,068	6,448	2,440	93.5%	93.6%	13.2%	519	254	579	2,444	18,552	4,625	2,042
目標	9,915	6,795	2,487	90.0%	90.0%	11.7%	470	190	595	2,496	18,560	5,151	2,160
目標達成率	91%	95%	98%			113%	110%	134%	97%	98%	100%	90%	95%
(参考)過去3年度平均	10,416	7,420	2,552										

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク木場 就職支援業務報告（平成 28 年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、生活保護受給者等の就職件数の目標達成を最重要と考え、特に重点的に進めることとし、自治体の就労支援員やケースワーカーとの連携を図り、江東区では、支援対象者 392 名に対し、就職件数 311 件、就職率 79.3%となった。また、江戸川区では、支援対象者 695 名に対し、就職件数 535 件、就職率 77.0%と、両区において目標の 60%を超える実績を達成できた。

特に、地域の要望に基づき平成 28 年 3 月に江戸川区小岩地区に新設した「ワークサポートこいわ」では、就職件数 267 件、就職率 77.8%の実績を達成し、区及び利用者から、的確な職業相談・職業紹介によって早期に就職できたとの評価をいただいた。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

利用者満足度調査結果において、「見やすい展示」、「分かりやすい陳列」の評価が低いことから、庁舎内の掲示方法を点検し、本庁舎 1 階～3 階の階段踊り場壁面に掲示ボードを 4 か所新設して掲示物を整理するとともに、求人コーナーでは、多種類のチラシを整理するためリーフレットスタンドを新設して集約し、書記台を広く使えるように改善した。

（3）今後のサービス・業務改善の取組について

正社員求人の確保は達成率が 105.7%と目標を達成しましたが、正社員就職数は 87.3%と目標に及ばなかったことから、引き続き求職者のニーズにマッチした正社員求人を確保するとともに、「マイタウン就職面接会」を地元自治体と共催により年間 10 回開催することに加え、正社員求人限定の予約面接会を年間 33 回開催することにより、正社員の就職を促進する。

（4）その他業務運営についての分析等

雇用保険受給者の早期再就職者数は、目標達成率 98.1%であり、この大きな要因は受給資格決定件数が対前年 5.4%減少したことによるものだが、引き続き受給説明会をはじめ初回認定日や給付制限期間中の職業相談等において、求人情報の提供や就職ガイダンス等の支援メニューの充実を図り、積極的に職業紹介を行っていく。

2 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	紹介 成功率	生活保護受 給者等の就 職件数	障害者の就 職件数	学卒ジョブサ ポーターの 支援による 正社員就職	マザーズハロー ワーク事業にお ける担当者制に よる就職支援を 受けた重点支援 対象者の就職率	正社員 求人数	開拓求人の 就職数	パートタイム 就職面接会 の実施によ る就職件数
実績	7,160	8,857	3,976	97.1%	96.0%	15.5%	846	415	822	88.7%	24,071	3,372	107
目標	7,640	9,890	4,051	90.0%	90.0%	13.4%	690	411	775	88.6%	22,763	1,500	80
目標達成率	94%	90%	98%			116%	123%	101%	106%	100%	106%	225%	134%
(参考)過去3年度平均	8,068	10,225	4,000										

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク八王子 就職支援業務報告（平成 28 年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、高齢者一時金の認定日における高齢者向けセミナーを実施し個別相談への取込みをさらに強化するとともに、高齢者向けの求人の確保をさらに強化し、高齢者の就職支援を行った。

また、人手不足分野の充足対策など地域における雇用課題に応えるため、管内の自治体や事業主団体と連携を密にし、保育園就職面接会、若年就職面接会、パートタイム・マザーズセミナー等を開催した。また、生活保護、生活困窮者等の就労対策として八王子市庁舎内の常設相談窓口の運営など共同事業を積極的に実施した。

特に保育園就職面接会は、保育士不足が顕著なことから、八王子市、日野市における潜在保育士の開拓の観点から、日曜日・祝日に開催し、参加人数 103 名、就職件数は 39 件という成果をあげ、両市からは事業の継続を要望されている。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

利用者アンケートでは、「ご意見箱」の位置が分かりづらいとの意見があったため、今までなかった 2 階にも「ご意見箱」を設置し、広く利用者から意見・要望を収集できるように改善した。

（3）今後のサービス・業務改善の取組について

所のエントランスを有効活用し、管内の人手不足の建設分野をはじめとした事業所による事業内容や求人内容の説明のために貸出を行い、応募勧奨等充足対策を実施していく。また、職業訓練受講者が減少している中で訓練機関職員による DVD を使用した訓練内容の説明・相談を実施し、訓練受講者を勧奨していく。

また、雇用保険受給者については、初回認定日の全員相談、給付制限中の職業相談目安日を設定し、来所・職業相談を実施するなど、受給者に対する取組を強化していく。

（4）その他業務運営についての分析等

新規求職者が減少する中で、高齢者層の求職者においては比較的減少幅が少なく、就職数においても前年度と比較すると増加している状況で

ある。若年層の正社員化の支援を積極的に行うとともに、継続して、高齢者一時金の認定日における高齢者向けセミナーを実施し個別相談への取込みをさらに強化するとともに、高齢者向けの求人の確保をさらに強化し、高齢者の就職支援を図っていくこととする。

2 総合評価 (※)

標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	紹介 成功率	障害者の就 職件数	学卒ジョブサ ポーターの 支援による 正社員就職 件数	ハローワー クの紹介に より正規雇 用に結びつ いたフリータ ーの数	マザーズハ ローワーク 事業におけ る重点支援 対象者の就 職率	正社員求人 数	介護・看護・ 保育分野の 就職件数	高齢者(60 歳以上)の 就職件数
実績	6,478	5,327	2,123	90.7%	99.0%	14.5%	389	2,392	1,996	88.6%	11,629	1,094	1,367
目標	6,945	5,610	2,395	90.0%	90.0%	12.6%	385	2,400	2,241	88.6%	10,585	1,150	1,300
目標達成率	93%	95%	89%			115%	101%	100%	89%	100%	110%	95%	105%
(参考)過去3年度平均	7,142	5,625	2,328										

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク三鷹 就職支援業務報告（平成28年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

管内自治体との連携・協力を最重点と考え、各ふるさとハローワークに専門相談員を配置し、生活支援が必要な方への自立支援の取組を市の相談人員とワンストップで実施したことで、生活保護受給者就職件数は目標 294 件に対して、結果 347 件と目標を上回る就職に結びつけることができた。

求職者が減少傾向にある中、マッチング機能の充実強化を重点課題として取り組み、また、各種セミナーの実施や自治体と連携した就職面接会、ツアー型面接会等の開催に積極的に取り組んだ。

求人受理時に、記載内容の適法性の確認を徹底するとともに、事業所画像情報収集や事業所PRシート作成について、魅力ある求人票とするためのコンサルティングを行うなど、充足対策を推進した。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

利用者アンケートで、掲示物が整理されておらず雑然とし分かりにくいといった意見があったため、サービス改善・向上委員会での分析を踏まえ、メンテナンスの強化を図った。

また、1Fの総合案内から2Fの雇用保険給付窓口への誘導が分かりにくく、誤った窓口を訪れる求職者が多いことから、通路の導線を勘案し、案内掲示の改善を図った。

（3）今後のサービス・業務改善の取組について

来所者に親しまれ利用しやすい窓口にするため、職員・相談員の更なる接遇の向上や質の高い職業相談を目指し、研修やチェック体制の整備を図る。

（4）その他業務運営についての分析等

雇用保険受給者の早期再就職について、目標未達成であったことから、職業講習会及び雇用保険説明会を活用し早期再就職のメリットを周知するとともに、職業相談部門と雇用保険給付課の連携を図り「受給資格者アンケート（就活ステップカード）」等を活用し、積極的に職業相談窓口への誘導に努めた。

2 総合評価 (※)

標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 特記事項

(1) ふるさとハローワークの更なる利用促進

当所管轄地域は南北に展開していることから、西東京市、東久留米市、清瀬市の3市のある「ふるさとハローワーク」における業績は大きなウエイトを占めている。各地域の自治体と連携を深め、周知・利用促進を図っている。

また、各ふるさとハローワークには、専門相談員を配置していることから、生活支援が必要な方の自立支援の取組も併せて実施している。

(2) 人手不足分野における人材確保

人手不足分野（介護・看護・保育）については、職場環境の理解を促したうえで就職に結びつけられるツアー型面接会や会社説明会、見学会等を効果的に実施して、人材確保に努めている。

4 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	紹介 成功率	生活保護 受給者等の 就職件数	障害者の 就職件数	正社員 求人数	正社員 就職件数	介護・看護・ 保育分野の 就職件数	チーム支援 による 障害者の 就職件数	東京労働局 マッチング 強化事業の 対象求職者 の就職件数
実績	5,782	4,310	2,199	99.1%	93.9%	13.9%	347	311	28,045	2,757	775	141	488
目標	6,075	4,340	2,395	90.0%	90.0%	12.1%	294	310	28,045	3,071	840	120	430
目標達成率	95%	99%	92%			115%	118%	100%	118%	90%	92%	120	113%
(参考)過去3年度平均	6,412	4,175	2,283										

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク府中 就職支援業務報告（平成28年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

新規求職者が減少傾向の中、雇用保険受給者の早期再就職件数の目標達成を特に重点とし、職業講習会・雇用保険受給説明会において、早期再就職のメリットを説明するとともに、雇用保険給付課と職業相談部門と連携を図り積極的に窓口誘導を行った。雇用保険受給者早期再就職件数目標2,579件に対し2,529件（達成率98.1%）、早期再就職割合が目標33.9%のところ34.7%と目標を上回る結果となった。

また、生活保護受給者等に関して、支援要請数が減少する中、各市との毎月ミーティングにおいて支援要請依頼を強化した。結果として支援対象者は平成28年度実績で対前年比0.5%増とわずかではあるが増加させ、就職数を431件、対前年比15.2%とした。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

雇用保険受給者の待合スペースにおいてディスプレイ画面を活用した情報提供の充実として、ハローワークサービスメニュー、面接会等イベント情報、求人情報の提供に加え、再就職のメリットや失業認定申告書の記載から再就職手当の概要や支給要件を画像情報で提供し、早期再就職の促進を図った。

（3）今後のサービス・業務改善の取組について

待遇等に関しては基本事項であり、研修等実施していく。業務に関しては、新規求職者の減少に対してハローワークの情報発信等の強化を図っていく。求人充足対策では充足会議の活性化を図り、会社説明会、ミニ面接会を積極的に開催する。

（4）その他業務運営についての分析等

就職数、充足数の主要指標が目標値の90%を割り込み、求人増の状況でも紹介数が前年比▲9.3Pと大きく下回っており、就職数と比例している。このため、紹介数増加が必要と考えるので、能動的キーワード検索やマッチング事業の求人等を利用した積極的な提案型紹介を展開させ、就職数の増加に繋げていく。

また、充足に関しては人手不足分野の求人が多い等課題はあるが、充足を意識した求人開拓の実施や充足会議の活性化、未充足求人に対する更なるフォローアップの強化を図っていく。

2 総合評価 (※)

標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	紹介 成功率	チーム支援 による障害 者の就職件 数	東京労働局 マッチング強 化事業の対 象求職者就 職件数	正社員 求人数	正社員 就職件数	障害者の 就職件数	学卒ジョブサ ポーター支援 による正社 員就職件数	マザーズハロー ワーク事業によ る担当者制によ る就職支援を受 けた重点支援対 象者の就職率
実績	6,097	4,588	2,529	97.3%	96.6%	14.2%	203	669	19,648	2,975	373	353	94.7%
目標	6,840	5,200	2,579	90.0%	90.0%	13.0%	178	400	20,900	3,420	360	375	88.6%
目標達成率	89%	88%	98%			109%	114%	167%	94%	87%	104%	94%	107%
(参考)過去3年度平均	7,209	5,280	2,574										

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク王子 就職支援業務報告（平成28年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

区との連携・協力を最重点と考え、平成28年2月から事業展開している生活保護受給者の一体的実施事業について、北区からの相談誘導により一体的相談窓口における相談・紹介を実施したことで、生活保護受給者就職件数は目標174件に対して、結果184件と目標を上回る就職に結びつけることができた。

また、赤羽しごとコーナーにおいては、隣接する区施設利用者への周知を展開しており、微増ではあるが求職者を増やすことができた。

この他、北区と共同で就職面接会、若者就職面接会、中高年齢者向けセミナー、女性のための再就職準備セミナー、障害者面接会を開催し、就職支援を行うとともに、潜在的なハローワーク利用希望者の誘導を行った。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

平成27年度に実施された利用者アンケートでは、「セミナーなど日程が決まっている情報をカレンダーに一覧にするなど一目でわかるようにしてもらいたい」という意見を受けて、日程が決まっているセミナー等について早めの情報提供を行うとともに、一覧表示とするよう改善を行った。

求人に関する事業所の詳細情報に対する期待度が多くあったことから、人手不足企業に対する企業PRに役立てるため、事業所画像情報の充実に積極的に依頼し件数を増加させるとともに求人情報を近隣所、埼玉局管内ハローワークへ提供することにより、充足対策を行った。

（3）今後のサービス・業務改善の取組について

今後も求職者の減少傾向は続くと思われることから、隣接する区施設利用者等への一層の広報活動の充実を図る。

（4）その他業務運営についての分析等

雇用情勢が改善し求職者の減少が続き、求職者の窓口利用が慎重化傾向にある。このことが紹介件数の減少の要因ともなっており、若年者、高齢者ともに同様な傾向にある。特に北区は高齢化率が23区内で一番高いことから、ハローワークへの潜在的利用希望者への誘引策として、広報の充実を引き続き図るとともに、事業所部門では若年者に対する就労支援、高齢者就労支援に伴う求人確保の強化に努める。

また、職業相談部門では若年者、高齢者に限らず、就職困難度が高い者に対するきめ細かな相談及び支援体制を展開してまいりたい。

2 総合評価 (※)

標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	紹介 成功率	生活保護受給者等の就職件数	障害者の就職件数	学卒ジョブサポーターの支援による正社員就職件数	ハローワークの職業紹介により正社員に結びついたフリーター等の件数	正社員就職件数
実績	3,006	2,653	1,171	96.7%	93.8%	12.6%	184	212	142	579	1416
目標	3,555	2,990	1,245	90.0%	90.0%	12.6%	174	212	156	801	1734
目標達成率	85%	89%	94%			100%	106%	100%	91%	72%	82%
(参考)過去3年度平均	4,026	3,190	1,263								

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク町田 就職支援業務報告（平成28年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、町田市と一体となった雇用対策を推進するため、平成27年2月から生活保護受給者等の再就職支援のため一体的実施事業による窓口を設置している。平成28年度は各種協議会等に積極的に参加し、雇用・労働に関する地域のニーズについて、意見交換等を行うなど、障害者の就職支援、福祉人材確保対策などと併せ、生活保護受給者等の就職に向けた取組を重点に行った。

その結果、就職者は313人と目標を21%上回り、町田市からは高い評価をいただいている。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

当所では、平成27年度利用者満足度調査により利用者から改善・要望のありました、広報物・窓口案内表示の改善について、サービス向上委員会で点検・検討し、特に庁舎玄関入口のエントランスホールについて、利用者目線に立った「わかりやすく、見やすい」窓口案内表示、統一性を持ったリーフレットの配架等の改善を図りました。利用者からは「わかりやすくなった」との言葉をいただいております、今後も継続してサービス改善に努めていく。

（3）今後のサービス・業務改善の取組について

当所では、庁舎が狭隘のためテナントビルを借用し、求人受理、学卒、助成金等の業務を行っていますが、書記スペース、待合席、個別相談コーナー等を十分に設けることができず利用者サービスの低下を招いている。問題の解決を図るためターミナル駅からの利便性の良いところで業務を展開すべく物件の確保を目指している。

（4）その他業務運営についての分析等

当所では、60歳以上の高年齢求職者割合が高く、高年齢者の就職支援が課題の一つとなっている。平成28年度からは求人情報提供端末に「高齢者歓迎求人」の選択ボタンの設置、高齢者向け就職支援セミナーの内容の見直し、高齢者を対象にした面接会の定期開催など、各種取組の改善を図っている。また、若年者及び雇用保険受給者に対する就職支援について、目標に到達していないため、相談窓口への誘導強化を図り、キーワードの聞きとり、個別の希望に沿った対象求人の提示等、就職支援の充実に努めていくこととしている。

2 総合評価 (※)

標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	紹介 成功率	生活保護受給 者等の就職件 数	障害者の就職 件数	学卒ジョサポーター に支援による正社員 就職件数	マザーズハローワー ク事業における担当 者制による就職支援 を受けた重点対象者 の就職率	正社員求人数
実績	3,868	2,487	1,269	98.2%	96.2%	11.9%	313	289	336	94.8%	7,929
目標	4,280	2,555	1,383	90.0%	90.0%	11.8%	258	278	325	88.6%	7,855
目標達成率	90%	97%	92%			101%	121%	104%	103%	107%	101%
(参考) 過去3年度平均	4,672	2,843	1,352								

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク青梅 就職支援業務報告（平成 28 年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

当所は管内での就職を希望する求職者が多いこと、また、求人充足において、当所求職者の割合が高いという地域的な特徴を有していることから、開拓求人の充足数について重点的に取り組み、特に、積極的なミニ面接会を 61 回開催、開拓求人による提案型紹介の実施等、早期マッチングの推進を通じて、目標 1,380 件に対して、実績 2,214 件と目標達成率 160%の実績を上げることができた。

また、当所では、雇用保険受給者の就職経路において、安定所紹介による割合が非常に高いことから、継続して雇用保険受給者の再就職支援に取り組むこととし、就職希望調査票により求職者ニーズを確認したうえ、担当制職業相談の希望がある者については、担当制個別支援に取り込み、「職務経歴の棚卸」、「応募書類、面接対策」、「応募企業の情報収集」「セミナー受講」などそれぞれのニーズに合った支援を実施した結果、119 件の紹介就職となった。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

利用者アンケートの中で、各種リーフレットの配架方法が、平置きにしてあり不評だったため、リーフレットスタンドによる配架に改め、さらにリーフレットスタンドに事業名を表示し、展示や陳列に工夫し順序にこだわった結果、わかりやすい配架となり、利用者から好評を得ることができた。

（3）今後のサービス・業務改善の取組について

当所では、有効求人倍率が初めて 1 倍を超えるなど改善が進む中、職種間ではアンバランスな状態となっており、特に介護・福祉分野、建設分野において人手不足が顕著であり、管内自治体や経済団体等においても危惧している。

平成 28 年度は福祉分野を中心に 15 回のツアー面接会を開催し、20 名の就職に結びついたが、平成 29 年度においてはさらに建設分野等を含め拡大を図り、人手不足分野におけるマッチングに努めることとする。

（4）その他業務運営についての分析等

当所においては、管内自治体と連携し、各種面接会等の共同事業を実施しているところですが、平成 28 年度より青梅市においては、女性・

若者の就労を支援し、地域経済や地場産業の活性化を図ることを目的とした「青梅市就職アシスト事業」を、また、あきる野市においては、子育て世代の就労支援や起業、創業支援を支援することを目的とした「あきる野市創業・就労支援事業」をスタートさせたところだが、両市ともに平成 29 年度も当該事業を継続実施することから、当所においても出張相談や面接会、セミナーへの講師派遣など両自治体と連携しつつ内容の充実を図り取り組むこととしている。

2 総合評価 (※)

標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 特記事項

女性の活躍促進やひとり親の就労支援が課題となっている中で、主にひとり親家庭の母親については、就職活動をすすめることに不安を感じている方が多いことから、当所ではひとり親の母親を中心に二日間連続開講する「お母さんの就職応援セミナー」を定期的で開催している。

内容については、仕事や子育てをどうやって両立させるか参加者が皆で考えていくもので、平成 28 年度は特にグループワークやロールプレイングを多く取り入れ、参加者からは「自分だけでは気が付かない事が良くわかり参考になりました」との意見もあり好評を得ている。

28 年度実績は実施回数 4 回、参加者合計 37 名でそのうち 20 名がひとり親の母親であった。

セミナー受講後の個別担当制相談には 17 名が利用を希望し、そのうちひとり親の母親は 11 名が希望があった。

このように、個別担当制への誘導率も高く、結果として当所からの紹介で 5 名、そのうちひとり親の母親は 3 名が就職に結びついた。

なお、セミナーへの参加勧奨にあたっては、職業相談窓口での案内のほか、管内自治体の子ども家庭部等を通じて行っており、自治体との効果的な連携が図られている。

4 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	紹介 成功率	生活保護受給者等の就職件数	障害者の就職件数	正社員求人数	チーム支援による障害者の就職件数	開拓求人者の充足数
実績	4,255	3,528	1,243	99.0%	100.0%	20.3%	199	227	8,405	140	2,214
目標	4,440	3,585	1,383	90.0%	90.0%	18.7%	168	225	7,052	140	1,380
目標達成率	96%	98%	90%			109%	118%	101%	119%	100%	160%
(参考)過去3年度平均	4,695	3,792	1,350								

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

用語の解説

○求職者担当制(P6 飯田橋、P23 大森)

ハローワークの職員がマンツーマンで求職者のニーズを踏まえた就職支援を実施するもの。

○求人に対する担当制(P6 飯田橋、P23 大森)

個々の求人に対し、求人者ニーズを踏まえた能動的マッチングから充足に至るまでのフォローアップを行うもの。

○ミニ面接会(P6 飯田橋、P11 渋谷、P14 新宿、P16 池袋、P18・19 立川、P25 足立、P28 墨田、P36 府中、P42 青梅)

複数の企業が一堂に会す合同就職面接会ではなく、企業1社に対し面接会を開催するもの。

○ツアー型面接会(P6 飯田橋、P14 新宿、P18 立川、P21 上野、P34・35 三鷹)

実際の就労現場で、施設見学をし、施設の概要、求人条件の説明を受け、その後に面接を実施するもの。

○東京労働局マッチング強化事業(P15 新宿、P17 池袋、P37 府中)

対象求職者と対象求人を東京労働局管内ハローワーク全体で共有し、マッチングを図る取組み。

対象求職者：求職者担当制対象者、フリーター等若年者等早期のマッチングが期待される者

対象求人：正社員求人、若者応援宣言企業求人、マザーズ求人、公開すると応募が相当数見込まれる求人、ある項目に着目すると非常に条件のよい求人
求人でも能動的に後押しすることで充足の可能性が高まる求人

○再就職支援委員会(P25 足立).

雇用保険受給者の再就職支援策を協議する会議。雇用保険給付課、事業所部門、職業相談部門職員が構成員。

○充足会議(P11 渋谷、P18 立川、P36 府中)

自所で受理した求人の早期充足、求職者の早期再就職支援を目的として、求人求職のマッチングを図る会議。事業所部門・職業相談部門職員が構成員。

○一体的実施事業(P10 品川、P38 王子、P40 町田)

自治体庁舎等で、ハローワークの職業相談・紹介を実施し、生活保護受給者等に対して、自治体の福祉施策等と一体となったワンストップの支援を行う事業。

○ふるさとハローワーク(P12 渋谷、P18・19 立川、P34・35 三鷹)

自治体の求めに応じ、自治体庁舎等で、職業相談・紹介を実施している施設。

○職業講習会(P12 渋谷、P18 立川、P23 大森、P34 三鷹、P36 府中)

雇用保険受給手続き説明会とは別に、早期再就職の必要性重要性、ハローワークの支援メニューの説明などを、雇用保険受給手続き後概ね 7～10 日後に実施する講習会。

○地域雇用問題連絡会議(P21 上野、P26 足立)

地域のニーズ・特性に応じ、国と自治体の連携強化の方向性や共同事業の企画・運営等を協議する会議。